



## N P O法人おもだか水辺の生き物保全会

アユが川面に光り、子どもたちの声が響き渡る清流はわたしたちの心のふるさとです

耕された水田に水が入り代かきが始まるころになると、水辺の生き物は一斉に動き始めます。カエルは卵を産み、しばらくするとオタマジャクシとなって群れをなし、水口にはナマズ、小川には、ドジョウ、コブナ、メダカ、アメンボなどが悠々と泳ぎ、水辺はにぎやかになります。小川の上流にはサワガニがいて、水面を滑走するようにオニヤンマが飛んでいます。ため池に目をやればゲンゴロウ、タイコウチ、イモリやサンショウウオも見る事ができました。初夏の夕暮れには、うちわを持ってホタルを追いかける子どもの姿が見られました。蚊帳の中に放たれたホタルのイルミネーションは子どもを「夢の世界」へと誘います。そんな自然環境は私たちの誇りでもありました。地域の優れた水辺の自然環境を守り、また、かつての豊かな水辺の環境を甦らせるために、私たちは、地域住民が主体となった自然環境保全活動を支援していきます。



県内淡水域に関する調査、保全及び人材育成に関する事業を行い山形県内淡水域の環境保全並びに地域振興に寄与することを目的とし

次のような活動を行っていきます

- 1 淡水域の生物生息状況調査事業
- 2 淡水域環境調査事業
- 3 淡水生物保護・復活支援事業
- 4 環境保全技術の研究・提案事業
- 5 環境保全を担う人材育成事業

